

小中連携研修会で話し合った各校の共通実践事項

学習指導

【家庭学習の共通実践事項】

- ・各校の目安の時間を意識して指導（小学校）
- ・小学校の目安の時間を参考にして指導（中学校）
- ・基礎計算・アルファベットの定着を図る（小学校）

【取組の成果や課題】

- 学習のきまりの配布、週報・PTA等で家庭学習の仕方について確認した。（宮川小）
- 週報等で家庭学習の目安の時間を知らせ、集中して無理なく取り組めるようにした。（皇徳寺小）
- 長期休業中の課題の内容を基礎基本定着を意識して考え工夫した。（皇徳寺中）
- 部活動と家庭学習の両立が困難な生徒への指導を継続していきたい。（皇徳寺中）
- テスト前やテスト期間中の学習への取組を自主的に行えるよう工夫していきたい。（皇徳寺中）

【学習のしつけの共通実践事項】

- ・持ち物の確認
- ・チャイムの始まりの意識付け（学習のかまえ）
- ・机上の整理
- ・授業中の姿勢に気をつけさせる

【取組の成果や課題】

- チャイムの合図で授業の開始の礼ができるように取り組んだ。高学年では、1分間前着席に取り組んだ。（宮川小）
- 机上の整理の仕方を随時指導した。また、文房具の使い方の指導も行った。（2B以上の鉛筆、シャープペンシルの使用禁止、定規の使い方など）（宮川小）
- タブレット使用のきまり（児童用・保護者用）を作成した。（宮川小）
- 「ゲー・ペタ・ピン」の合い言葉を徹底させることで、姿勢に気をつけるようになった。（皇徳寺小）
- 整理の仕方の指導を行い、定期的に声かけをした。（皇徳寺小）
- 指導者が常に授業始まり3分ぐらい前に、教室に行って準備を心がけた。（皇徳寺中）
- 生徒会で「授業1分前着席、30秒前黙想」を決めて取り組んでいる。（皇徳寺中）
- 机上の整理や授業中の姿勢への指導は、引き続き必要である。（皇徳寺中）

生徒指導

【不登校児童への対応について】

- ・事案によってはSSW（スクールソーシャルワーカー）を活用する。
- ・小学校での対応状況を中学校へ引き継ぐ。
- ・中学校のきまりを小学校で確認して指導に生かす。

【取組の成果や課題】

- 職員間や家庭と連携を図り、面談等を通じて改善が見られた児童もいた。（宮川小）
- 学期が進むにつれて欠席が多くなる児童がいて、保護者と連携して改善を模索している。（宮川小）
- 保護者との教育相談を重ね、よい方向へ向かった子供もいた。（皇徳寺小）
- 次年度への引き継ぎを大事にしたい。（皇徳寺小）
- SCの面談を定期的に活用している。現在は、保健室登校後、早退という形で学校とのつながりを切らないようにしている。（皇徳寺小）
- 小学校から引き継いだ情報をもとに、教育相談や家庭訪問など個別の対応に取り組むことができた。（皇徳寺中）
- 不登校傾向の生徒やその保護者へ、SCとのカウンセリングを進めることで、改善の兆しが見える事例があった。（皇徳寺中）

【SNS・ネットトラブルの対応について】

- ・各学校で年度内に保護者に伝え、啓発する活動を行う。

【取り組みの成果や課題】

- ゲームやSNSでのトラブルが学年によって起きている。学校で把握しているものも

あるが、できていないものもあるようである。(宮川小)

- 学級PTAでゲーム等のオンラインでの遊び方や時間について話題にした。(宮川小)
- 低学年はあまりなかったが、3年生からタブレットが一人一台になるので、最初に約束をすることが大切だと思う。(皇徳寺小)
- タブレットの使い方、ゲームとの付き合い方は繰り返し保護者に伝えている。(皇徳寺小)
- 学期末のPTA資料などで保護者への啓発を行った。またSNSチェックシートなどのアンケートを基に、各学級で個別の生徒への声かけを行うことができた。(皇徳寺中)
- 家庭でのスマホやタブレットの利用法について、親子でルールを話し合っただけでなく、さらに啓発していきたい。(皇徳寺中)

特別支援教育

【就学指導のあり方について】

- ・就学指導で、保護者と児童の実態にあった話を進める。
- ・自立活動を実践し、内容の充実を図る。

【取組の成果や課題】

- 支援学級の6年生と保護者を対象に、中学校の授業参観や意見交換ができ、とても勉強になった。(宮川小)
- 就学について計画的に進めたが、対象児童へ体験等が十分にできなかった。(宮川小)
- 保護者に特別支援教育に対する理解への啓発が必要だと感じた。各学校、どのような啓発を行っているのか知りたい。(宮川小)
- 自立活動については、2年から6年までを一斉に同じ内容でするとなると目標設定が難しい面があった(宮川小)。
- 自立活動において、児童自身が自分の変容を感じることができるポートフォリオ評価を考えていきたい。(宮川小)
- PTAで来年からタブレットが配布されることを伝え、トラブルが起きないように家庭と連携していくことが大切であることを伝えた。(皇徳寺小)
- 小学校の先生方と対象の生徒や保護者についての情報交換ができたのは良かった。(皇徳寺中)
- 小学校からの参観授業も数回行えた。(皇徳寺中)
- 小学校の段階で、療育センターでの検査など受け、適切な就学指導をしてほしい。(皇徳寺中)

保健指導

【ネット依存・ネットトラブルについて】

- ・ゲーム、スマホ等を夜遅くまでせず、十分睡眠をとる。

【取り組みの成果や課題】

- PTA活動でメディアへの付き合い方についての取組が行われ、家庭での意識が高まった。(宮川小)
- ゲームや動画視聴時間が一日で数時間に及ぶ児童がいる一方で、平日ほとんどゲームも動画視聴もしていない児童もいて、家庭での差が大きい。(宮川小)
- 夏休みや冬休みの長期休みの前には、全体指導をしプリントを配布した。(皇徳寺小)
- 学校保健委員会で、「就寝2時間前・21時以降は使用しない」ことについて、夏・冬休みに取り組んだが、早寝早起きとともに実践状況に個人差がある。保護者と連携して取り組む必要がある。また、児童自身の自制心やメディアコントロール育成も必要である。(皇徳寺小)
- PTAや学校保健委員会等で話題にし、保護者に啓発を図ってきた。LINEやオンラインゲームをやる子供たちが多くなってきているようだが、それによるトラブルは今年度は聞いていない。(皇徳寺小)
- 家庭によって深夜まで親といっしょにゲームをしている子供もいる。(皇徳寺小)
- 保健室を利用する生徒には、ゲームやスマホの使いすぎで睡眠不足の生徒や体調を崩す生徒が見られた。(皇徳寺中)
- 今後、学級や学年全体で常に啓発する機会を作っていく。(皇徳寺中)